

神奈川県公立高等学校 入学者選抜制度改善方針に関して

去る 10 月 19 日に、神奈川県教育委員会より「神奈川県公立高等学校 入学者選抜制度改善方針」が発表されました。現在の中学校 2 年生が受験をする平成 25 年度入試より、大幅な制度改善がされることとなります。

改善方針の概要は以下の通りです。

- ① これまでの前期選抜・後期選抜が一体化され、選抜の機会が 1 回となります。
- ② 従来の後期選抜と同様に、出願後、一度だけ志願変更が可能になります。
- ③ 定員に欠員があった場合には、これまで同様二次募集が行われます。
- ④ 学力検査において、クリエイティブスクール以外のすべての学校で共通問題（原則 5 教科）を使用し、全員に面接も課されます。
 - ・これまでの「独自入試問題」はなくなります。
 - ・新しい学習指導要領に記載されている新たな学力要素のうち、これまで以上に「思考力・判断力・表現力等」を測る学力検査となるため、入試問題の傾向や難易度が変わる可能性があります。
- ⑤ 共通検査（学力検査と面接）に加え、「特色検査」を実施することができます。
 - ・「特色検査」の内容は、実技検査と自己表現検査です。
 - ・「特色検査」を実施する場合は、学力検査を 3 科目まで減らすことができます。
- ⑥ 合否決定のための選抜の資料（調査書・学力検査の得点合計・面接の得点）の重視する割合は各高校で決定します。
 - ・「特色検査」を実施する高校は、調査書・学力検査の得点合計・面接の得点に特色検査の結果を加えて選抜を行います。
- ⑦ 選考の方法に関しては次の通りになります。
 - (ア) 各資料の扱い
 - ①調査書の学習の記録
 - ・ 2 年・3 年の 9 教科の評定を用います。
 - ・ 3 年の評定に関しては 2 倍の数値を用います。

$$A = (2 \text{ 年の } 9 \text{ 教科の評定合計}) + (3 \text{ 年の } 9 \text{ 教科の評定合計}) \times 2$$

- ・ 2 年の評定と 3 年の評定の 2 倍の合計値を、3 教科までの範囲で 1 以上 2 以下の数字をかけ、重点化した数値とすることができます。

②学力検査の結果

$$B = (\text{各教科の得点の合計})$$

- ・ 2教科までの範囲で、1以上2以下の数字をかけ、重点化した数値とすることができます。

③面接の結果

$$C = (\text{面接の得点})$$

(イ) 合計数値の算出

○合計数値は、上記のA・B・Cをもとに各高校で定めた比率（f・g・h）を基に計算されます。

- ・ A・B・Cをそれぞれ100点に換算した数値をa・b・cとします。
- ・ f・g・hは、2以上の整数でf + g + h = 10になるように決められます。

$$S = a \times f + b \times g + c \times h$$

○特色検査を実施した場合はその結果（D）を100点に換算した数値（d）を計算に入れます。

- ・ iは5以下の整数となります。

$$S = a \times f + b \times g + c \times h + d \times i$$

(ウ) 選考の方法

- 第1次選考として、募集人員の90%まで数値Sに基づく選考が行われます。
- 第2次選考として、学力検査と面接の結果を資料として選考が行われます。
- クリエイティブスクールにおいては、調査書の評定ではなく、観点別学習状況を活用し、調査書を面接も資料として活用し総合的選考が行われます。
- 特色検査を実施した場合は、その結果も選考の資料として活用されます。

※今後「入学者選抜制度改善方針」として、平成23年11月上旬にリーフレット、12月上旬に説明資料が配布され、広報周知される予定となっています。

※正式な平成25年度入学者選抜実施要綱・要領は、平成24年5月～6月に公表される予定です。

現在、臨海セミナーでは入試情報センターを中心に新しい入試制度の情報収集並びに分析と最善の対応策の検討を始めております。今後の動静も見守りつつ、一早い情報のご提供ができますよう全力で取り組んでまいります。